

まず、サブドメイン名を決定します。例では、

- 既存ドメイン：           example.jp
- サブドメイン：           mag.example.jp
- OS：                     Linux
- DNSサーバソフト：       BIND
- ゾーンファイルの場所： /var/named/example.jp.zone

とします。



DNSサーバの、既存ドメインのDNSレコードファイルを開きます。

```
$ su -  
# vi /var/named/example.jp.zone
```



下記の行を追加します。

```
mag.example.jp.  IN  NS  ns1.y-ml.com.  
mag.example.jp.  IN  NS  ns2.y-ml.com.  
mag.example.jp.  IN  NS  slave1.igreks.co.jp.
```

## サブドメインとNSレコードの指定

作者： admin

2012年 10月 20日(土曜日) 18:30 - 最終更新 2020年 2月 12日(水曜日) 12:23

---

※対象のホスト名 (mag.example.jp.) に対して、上記3つのレコード以外は設定しないでください。  
対象のホスト名 (mag.example.jp.) に

既存のレコード設定

(A、MX、TXT、他のNSレコードなど)

があった場合はすべて削除するか、コメントアウトしてください。



保存して終了します。

:wq



DNSサービスを再起動します。

```
# /etc/rc.d/init.d/named restart
```

以上でゾーンファイルの編集は完了です。

DNSサービスを再起動してから、実際にインターネットに反映されるまで、24時間ほどかかる場合があります。

完了したら、「[2. 反映の確認](#)」に進んでください。

## サブドメインとNSレコードの指定

作者: admin

2012年 10月 20日(土曜日) 18:30 - 最終更新 2020年 2月 12日(水曜日) 12:23

---